

衆議院議員秘書（公設） & 明治大学公共政策大学院生

樋口なおきの

川越市政
研究報 0

川越のことは好きだけど、

こんなこと、
思ったことありませんか？

- 1 市政については、
知らない。
- 2 わからない。
- 3 不安と不満。

（もしくは、無関心。）

川越市に住んでいて、川越のことは好きだけど、川越市でどのような市政が行われているかは知らない。わからない。
国政のことはTVや新聞、ネットで触れるけど、川越市のホームページは見たことない。
人口減少・高齢化社会等の問題は現在進行中。解決策が示されぬまま進められる地方分権。本当にこのままで大丈夫だろうか。。
でも、どうして良いかはわからない。

いま、川越市はどうなっているのか。
誇れるところは何か。何が問題か。
現状を把握できているからこそ、
変化が起きたときに変化に気づける。
その変化は、期待のできる変化か。
劣化・悪化していないか。チェックする。
そして、評価ができる。満足できる。
川越市政を見つめ直してみませんか？

- 1 現状を知る。
- 2 変化がわかる。
- 3 評価できる。

（文句も言える。）

知ることから始めましょう。

私は、衆議院議員秘書として国政の現場で経験を積み、明治大学公共政策大学院で多くの市町村職員と一緒に学ぶ中で、「川越らしさ」を意識するようになりました。「川越らしさ」とは、何か。まずは、川越のことを知ることから始めましょう。「樋口なおきの川越研究報」は、みなさんの普段の生活では意識しづらい川越市政について、わかりやすく研究発表していきます。是非、ご笑覧下さい。